



しゃきょう 2021年11月号193号 社協だより

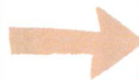
●発行 社会福祉法人三宅島社会福祉協議会 〒100-1211 三宅島三宅村坪田 3053 電話 04994-8-5888

成年後見制度ってご存知ですか？

成年後見制度は手続きや財産管理、契約行為などに心配がある方を信頼できる方に「もう一人の本人」として「後見人（こうけんじん）」になってもらい、その「後見人」に生活を支えてもらう制度です。「後見人」は本人の利益を考えながら、契約や本人がした不利益な法律行為（悪徳商法の業者から高額商品を買うなど）をあとから取り消したりすることによって、権利や財産を保護し、本人が希望する生活をサポートすることができます。



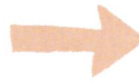
通帳や印鑑をなくしてしまうことが増えた。誰かに使われて預金をおろされてしまうのがとても怖い。最近、物忘れも増えてきたが相談できる人もまわりにおらず、今後だまされたりしないか心配…。サポートしてくれる人はいないから？



身近に任せられる人がいないため、後見相談窓口に相談した。後見人に預金通帳や様々な契約書の保管や、財産の管理をしてもらうことになった。だまされて何かの契約をしてしまったとしても、後見人が取り消してくれるので安心して生活ができています。

こんな悩みを持っていた方が「成年後見制度」を使ったら…

ニュースで病院での保証人の話や孤独死の話を見て、近所に頼れる人がいないことが心配になった。将来、自分が認知症になった時には、誰が支えてくれるのだろうか。不安だなあ…。



後見相談窓口に相談してアドバイスをもらい、エンディングノートを作って、将来について考えた。いざというときは自分の子どもに頼りたいと思い、息子にも相談した。息子が任意後見になってくれた。



後見制度についてのご質問やお悩みなど、三宅島社協にお気軽にご相談ください！

新型コロナウイルス感染症も依然として猛威を振るっています。デルタ株に加えラムダ株と次々と変異種があらわれています。三宅村のみなさまは既に大半の方が2度のワクチン接種を済ませています。変異種に対しても一定の予防効果があり、重症化も抑えられることがわかっていますが、リスクが完全になくなるわけではありません。引き続きマスクや手指消毒、十分な栄養と睡眠に心がけてください。



10月27日～11月9日は読書週間です！



社協職員のおすすめの本を紹介します！

秋が深くなり、だんだんと冬の足音が聞こえ始める季節となりました。コロナ禍の中、自宅で休日を過ごす時間が増えてきて以前より読書が身近になっているかもしれませんが、読書週間が始まっているということで昨年に引き続き今年も11月号では事前に社協職員にアンケートを取り、おススメの本を紹介してもらいました！絵本、写真集、小説などなど…たくさんのおススメしてくれました！皆さんも気になる本があれば、是非読んでみてくださいね。読書週間とは…終戦まもない1947年（昭和22）年、まだ戦火の傷痕が至るところに残っているなかで「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という決意のもと、出版社・取次会社・書店と公共図書館、そして新聞・放送のマスコミ機関も加わって、昭和22年11月17日から、第1回『読書週間』が開催されました。翌年の第2回からは期間も10月27日～11月9日（文化の日を中心にした2週間）と定められ、この運動は全国に広がっていききました。

全力少年ドモラ

シルクロード

大人気グループYouTuberのリーダーが書いた自伝小説です。現在27歳にして有名なYouTuberになるには想像を超える努力と覚悟、決意がありました。寝食を忘れて好きなことに打ち込む。現実的ではないかもしれませんが夢を夢で終わらせない。この仲間とならかなえられる。そんなところがとてもステキで励まされる作品でした！

福本有紀子

**ターシャ・テューダー
人生の楽しみ方**

倉野雅子

ターシャ・テューダは世界的に有名なアメリカの絵本作家でなんでも手作りする19世紀風の暮らしを楽しんだ人としても知られています。作者はターシャが残してくれたメッセージの中から心に響いたものを拾い上げて書いています。「自分も楽しみ、人も楽しませた人生」ターシャの前向きな生き方は勇気と感動を与えてくれました。

小室 美幸

自分の感受性くらい

茨木のり子

1977年に出版された詩集です。この本とは高校生の頃、図書館で出会いました。詩集の題名にもなっている「自分の感受性くらい」というこの詩を、いつまでもどんな時も心に持ちながら生きていきたいと思っています。明日からの生き方が変わるかもしれませんがこの詩だけでも読んでみてください。

石塚 未奈

エルマーの冒険

**ルース・スタイルス
・ガネット**

私が幼稚園の時頃に会った本で3部作になっています。エルマーがりゅうの子どもを助けるための旅、冒険物語です。旅に出るのにリュックに色々道具を用意します。その道具を使って危機を乗り越えていく様がワクワクしたのを覚えています。大人向けではありませんが、表紙も素敵でおすすめの1冊です！

五十嵐絢子

プラネテス

1999年から2004年に連載された全4巻のSF漫画作品です。舞台は宇宙開発が進んだ近未来のヒューマンドラマ重めの内容となっています。短いSF作品ながらも非常に密度が濃い作品となっています。全4巻というまとまった→

柳川真広

幸村誠

→ボリュームですので、船の移動中におすすめの作品です。

来年1月月曜日から過去放送されたアニメ版がEテレで再放送されるとのことですので、そちらもぜひ、見てみてください！

小説 8050

林真理子

家族の一員が、とても小さな、ほとんどどうでも良いことがきっかけで高校時代から7年間の「ひきこもり」となる。この小説はそんな本人と家族の葛藤をリアリティーある描写でどんどん引き込んでいきます。いじめや介護、学歴社会、様々な現代の課題を織り交ぜながら問題を提起しています。正直読むのが苦しくなることもありましたが、結末には少しホッとしました。三宅村図書館が所蔵しています。2021年4月初版

斉藤 央

あした元気に
なるために

吉田浩

時間の大切さを教えてくれる詩です。今まで意識しなかったことを気づかせてくれる本です。詩なのですぐに読み終え、その時間の大切さを教えてくれます。

池田 弘子

イルカに学ぶ
癒しのコツ

渋谷正信

野生のイルカと泳ぐのが好きで、御蔵島に通い始めた1995年頃自然と購入していた中の1冊です。自己流で泳いでいて、この本を読んで著者の方に手紙を書いて著者の渋谷さんが主催する「水中塾」という所に通うようになりました。「ゆっくりと丁寧に」「余計な力を抜いて」「確かめながら」泳ぐという渋谷先生への泳ぎの教えの3本柱は泳ぐ時や水中だけでなく、普段の生活の中でもとても参考になっています！

窪田 清美

憂国のモリアーティ

構成/竹内良輔
漫画/三好輝

原案/コナン・ドイル

シャーロックホームズを原案に書かれたマンガです。シャーロックホームズの最大にして最強の宿敵であるモリアーティ教授が主役の本。モリアーティ教授は一体どんな人だったのか。悪とは何か。とても面白い作品です。小説・ミュージカル・舞台・アニメ化もされているマンガです。マンガは15巻まで出ていますがネットでもためし読みあります。

菊地佐和子



ステキな本を紹介してくれた社協職員の皆さん、

ご協力本当にありがとうございました。



たすけあい資金貸付について

三宅島社会福祉協議会には昭和43年の法人設立以来、指定寄付金を原資に不慮の出来事等により、一時的に生活に困窮し日常生活が困難となった低所得世帯で、他から資金を借り入れることができない世帯に対して、生活の安定と世帯の自立を図ることを目的とした「たすけあい貸付資金」制度があります。貸付対象者は原則三宅村に住まわれている方です。また、三宅村に住む連帯保証人を1名立てていただきます。貸付対象者及び連帯保証人は返済の見込みが確実な方となります。また、完済まで本会及び関係機関が、関わりをもつことに同意いただき、民生委員の方の審査も必要です。貸付金額は、一世帯当たり10万円を上限に、2カ月以内の据置期間を置き3年以内に返済となります。(無利子)近年、貸付は審査が厳しくなり貸付件数は非常に少なくなっておりますが、お困りの時は一度社協へ相談ください。



開所日時:月・水・木(10:00~15:00)

三宅村地域活動支援センター「いぶき」は障がいのある方の働く作業場と楽しく過ごせる場所です!

11月のいぶき活動

緑化活動 1・8・15・22・29日(全月曜日)

外出支援 18日(木曜日)

創作活動の中で「さをり織」があります。経糸をとおす作業から織り込む作業までを取り組まれます。熱心に順調に進められています。そのあと、裁縫が得意な方によって手さげやポーチなどが出来上がっていきます。その他にもゆび編みがあり、材料の色分けをされたり、編み込まれたり、皆さんそれぞれの役割に一生懸命取り組まれています。



ちけん通信

Vol.31 「ちけん」は金銭管理だけ?

Q.

ちけんは金銭管理以外のことは
何もしてくれないのでしょうか?

そうだ!

社協の地権に

相談して

みよう!

地権担当のヤナガワです。ご相談ありがとうございます!ちけんでは金銭管理だけでなく、相談いただいた方のお困りごとに合わせたサポートを行っています。「ちけん」では認知症や知的障がい、精神疾患などにより生活が大変になってしまった方のサポートを行う事業です。必要に応じて役場や年金などの手続きのお手伝いや支払いの代行、大切な書類の保管など様々な形で支援を行っています。

ご相談いただいた内容につきましては、秘密厳守で対応していますので、お気軽に、電話やメールなどでお問い合わせください!



「地権(ちけん)」では、判断能力に心配がある方を対象として、福祉サービスの利用に関する相談に応じ、助言や情報提供を行う事で本人による選択や契約を支援する事業です。

上記のような心配ごとや不安ごとがございましたら三宅島社協地権担当:柳川(やながわ)【直通 8-5883】まで!

寄付金のお知らせ

下記の方から三宅島社会福祉協議会へご寄付頂きましたのでご報告いたします。

工藤ナカさまより 厚志にて 組織運営事業のために

金地裕見さまより 母福澤徳子さまの香料にて 訪問介護事業のために

福祉振興のため、大切に使用させていただきます。ご厚志誠にありがとうございます。

